

■ 2021年度 入試問題分析シート ■

東京医科歯科大学 前期日程 医学部(医学科)

科目	数学
----	----

総括

試験時間	90分	難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
満点(配点)	120点	分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉

相変わらず、制限時間を考えると、決して取り組み易いとは言えない出題が続いている。本年は、昨年よりも問題の難易は上昇し、作業量も増加している。高得点のためには、解答時間の配分など、高いレベルの判断が必要である。

〈特記事項・トピックス〉

積分が全く出題されていないことは珍しい。逆に、2次曲線の出題は本大学では久しぶりである。空間座標は昨年に引き続き出題された。さらに、確率の出題が3年連続であることも特記すべきであろう。

〈合格への学習対策〉

大問が3題のみ(すべて記述式)という出題形式が続いており、年度毎に、出題されるテーマが変化することを考え、苦手な分野を作らず、高校数学の全分野に関して、きちんとした数学力を身に付けることが受験対策の中心である。もちろん過去の演習はそのための大事なステップである。

設問ごとの分析

問題番号	出題形式	範囲	分野・テーマ	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
1	記述	A	確率	袋から、番号の書かれた球を取り出して定まる整数の1の位を四捨五入して得られる数が与条件を満たす確率を求める問題。丁寧に場合の数を数えればよいが、手数がかかる。	標準
2	記述	B, II	空間座標, 微分	断面に現れる三角形の周の長さが一定である正四角錐に内接する球や直方体の体積の最大値を考える問題。	標準
3	記述	III	2次曲線(双曲線), 微分	双曲線の異なる2点における接線の交点の存在範囲や極線を求める問題。(3)は類題の経験がないと厳しい。	やや難

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階【難・やや難・標準・やや易・易】で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。